



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 石原産業株式会社

コード番号 4028 URL <https://www.iskweb.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名） 大久保 浩

問合せ先責任者（役職名）常務執行役員財務本部長（氏名） 潮見 統一郎（TEL） 06-6444-1850

半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年12月8日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 （アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	76,459	2.6	7,371	177.8	8,501	241.9	5,649	676.9
2025年3月期中間期	74,522	10.4	2,653	16.4	2,486	△55.0	727	△80.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 5,832百万円（101.5%） 2025年3月期中間期 2,895百万円（△51.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	147.66	—
2025年3月期中間期	19.03	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	238,808	117,198	49.0
2025年3月期	225,097	114,448	50.8

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 117,008百万円 2025年3月期 114,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00
2026年3月期	—	30.00			
2026年3月期（予想）			—	70.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	152,000	4.7	16,000	52.6	16,400	44.0	12,200	45.1	318.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) ISK BIOSCIENCE INDIA PVT. LTD. 除外 - 社 (社名) -
(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	40,383,943株	2025年3月期	40,383,943株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,128,724株	2025年3月期	2,125,067株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	38,257,398株	2025年3月期中間期	38,211,060株

(注) 当社は取締役等に対する株式報酬制度「株式交付信託」を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、第2四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における国内経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策による下支えにより、緩やかな回復基調を維持しました。一方、物価上昇に伴う実質購買力の低下や消費者マインドの持ち直しの鈍さが個人消費の重石となり、製造業を中心とした設備投資も引き続き慎重な姿勢が見られるなど、景気の回復力にはなお弱さが残っています。海外においては、米国の通商政策の先行き不透明感が自動車関連産業を中心に影響を及ぼす中、地政学リスクの長期化や為替・金融市場の変動も重なり、事業環境の不確実性は引き続き高い水準にあります。

このような経済環境下において、当社グループの事業環境は、原材料価格や為替相場の変動に加え、地域ごとの市況差や競争環境の変化の影響を受けました。有機化学事業では、農薬が米州における成長戦略剤の伸長や各地域での殺虫剤の販売増加により好調に推移しました。無機化学事業では、電子材料及び機能性色材が堅調に推移した一方、ファインケミカルでは市況の低迷と競合との競争激化により減収となりましたが、販売価格の維持とコスト削減などにより増益となりました。

この結果、当中間連結会計期間の連結業績は、売上高764億円（前年同期比19億円増）、営業利益73億円（前年同期比47億円増）、経常利益は85億円（前年同期比60億円増）、親会社株主に帰属する中間純利益は56億円（前年同期比49億円増）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

（有機化学事業）

農薬においては、成長戦略剤では米国で除草剤が小麦用途を中心に伸長し、アジアでは殺虫剤の販売が堅調に推移しました。既存剤では、殺虫剤が米州、欧州の各地域で販売を伸ばしました。国内販売は概ね前年同期並みで推移しました。

農薬以外では、動物用医薬品や医薬品原薬などのヘルスケア事業の売上高は前年同期比で増加したものの、全体に対する影響は限定的でした。

この結果、有機化学事業の売上高は415億円（前年同期比52億円増）、営業利益は57億円（前年同期比30億円増）となりました。

（無機化学事業）

無機化学事業においては、電子材料が積層セラミックコンデンサー（MLCC）向けを中心に国内販売は堅調に推移し、また、海外販売は地域別の濃淡はあるものの一定の販売を確保しました。機能性色材では、化粧品用途の販売が堅調でした。ファインケミカルでは、酸化チタンの販売が総じて厳しい状況となりましたが、販売価格の維持とコスト削減などにより増益となりました。

この結果、無機化学事業の売上高は330億円（前年同期比30億円減）、営業利益は36億円（前年同期比19億円増）となりました。

（その他の事業）

売上高は19億円（前年同期比2億円減）、営業利益は1億円（前年同期並み）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて137億円増加し2,388億円となりました。流動資産は78億円増加し1,627億円となりました。これは受取手形、売掛金及び契約資産が33億円、棚卸資産が24億円減少しましたが、現金及び預金が140億円増加したことなどによるものです。固定資産は、58億円増加し760億円となりました。これは、有形固定資産が55億円増加したことなどによるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べて109億円増加し1,216億円となりました。これは、支払手形及び買掛金が55億円、営業外電子記録債務が39億円、長短借入金・社債が16億円増加したことなどによるものです。

純資産については、前連結会計年度末と比べて27億円増加し1,171億円となりました。これは、利益剰余金が増加したことなどによるものです。

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて140億円増加し、当中間連結会計期間末における残高は389億円となりました。

当中間連結会計期間における各活動のキャッシュ・フローのうち主なものは、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、202億円の収入（前年同期は182億円の収入）となりました。これは、税金等調整前中間純利益77億円、減価償却費及びその他の償却費22億円、売上債権の減少40億円、棚卸資産の減少24億円、仕入債務の増加53億円などの資金増加要因があったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、46億円の支出（前年同期は50億円の支出）となりました。これは固定資産の取得などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、21億円の支出（前年同期は75億円の支出）となりました。これは、長短借入金・社債の純増16億円、配当金の支払32億円などがあったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中間連結会計期間の業績及び今後の見通し等を踏まえ、2025年5月8日に公表しました2026年3月期の通期業績予想を修正しました。

詳細は、2025年11月6日に別途公表しました「2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,948	38,964
受取手形、売掛金及び契約資産	40,418	37,063
電子記録債権	2,637	1,870
商品及び製品	49,248	45,239
仕掛品	6,116	6,500
原材料及び貯蔵品	27,500	28,671
その他	4,274	4,667
貸倒引当金	△315	△252
流動資産合計	154,830	162,724
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	12,375	13,653
その他（純額）	34,203	38,478
有形固定資産合計	46,579	52,131
無形固定資産	1,881	1,943
投資その他の資産		
投資有価証券	11,488	13,004
繰延税金資産	6,557	6,367
退職給付に係る資産	36	43
その他	3,782	2,647
貸倒引当金	△58	△53
投資その他の資産合計	21,806	22,009
固定資産合計	70,267	76,084
資産合計	225,097	238,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,809	20,346
電子記録債務	1,233	943
短期借入金	15,877	17,390
1年内償還予定の社債	812	812
未払法人税等	883	1,944
引当金	932	998
営業外電子記録債務	101	4,085
その他	12,016	10,967
流動負債合計	46,667	57,488
固定負債		
社債	1,779	1,372
長期借入金	49,013	49,563
引当金	68	151
退職給付に係る負債	10,067	9,904
その他	3,053	3,129
固定負債合計	63,981	64,121
負債合計	110,648	121,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,645	11,204
利益剰余金	56,226	58,832
自己株式	△2,591	△3,155
株主資本合計	107,699	110,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	727	1,050
為替換算調整勘定	4,497	4,369
退職給付に係る調整累計額	1,348	1,287
その他の包括利益累計額合計	6,572	6,706
非支配株主持分	175	189
純資産合計	114,448	117,198
負債純資産合計	225,097	238,808

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	74,522	76,459
売上原価	57,615	54,803
売上総利益	16,906	21,655
販売費及び一般管理費	14,253	14,283
営業利益	2,653	7,371
営業外収益		
受取利息	98	85
受取配当金	181	238
持分法による投資利益	1,252	1,075
為替差益	-	444
その他	233	134
営業外収益合計	1,766	1,978
営業外費用		
支払利息	363	403
金融手数料	248	258
為替差損	1,158	-
その他	162	186
営業外費用合計	1,933	849
経常利益	2,486	8,501
特別利益		
投資有価証券売却益	47	19
特別利益合計	47	19
特別損失		
減損損失	-	303
固定資産処分損	189	475
特別損失合計	189	779
税金等調整前中間純利益	2,344	7,741
法人税、住民税及び事業税	466	1,934
法人税等調整額	1,113	143
法人税等合計	1,580	2,078
中間純利益	763	5,662
非支配株主に帰属する中間純利益	36	13
親会社株主に帰属する中間純利益	727	5,649

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	763	5,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△141	321
為替換算調整勘定	1,985	△604
退職給付に係る調整額	△156	△60
持分法適用会社に対する持分相当額	443	513
その他の包括利益合計	2,131	169
中間包括利益	2,895	5,832
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,858	5,818
非支配株主に係る中間包括利益	36	13

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,344	7,741
減価償却費及びその他の償却費	2,580	2,296
減損損失	-	303
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△61	△64
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△263	△236
その他の引当金の増減額(△は減少)	115	148
受取利息及び受取配当金	△280	△324
支払利息	363	403
為替差損益(△は益)	72	△17
持分法による投資損益(△は益)	△1,252	△986
投資有価証券売却損益(△は益)	△47	△19
固定資産処分損益(△は益)	59	57
売上債権の増減額(△は増加)	7,046	4,005
棚卸資産の増減額(△は増加)	7,132	2,484
その他の流動資産の増減額(△は増加)	428	△191
仕入債務の増減額(△は減少)	△132	5,343
その他の流動負債の増減額(△は減少)	332	343
その他	△16	△5
小計	18,422	21,281
利息及び配当金の受取額	279	326
利息の支払額	△311	△396
保険金の受取額	21	0
和解金の受取額	1,038	-
法人税等の支払額	△1,204	△936
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,245	20,275
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△407	△0
固定資産の取得による支出	△3,857	△4,480
貸付けによる支出	△61	△108
貸付金の回収による収入	128	145
投資有価証券の売却による収入	82	19
その他	△976	△260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,093	△4,686

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	130
長期借入れによる収入	-	6,000
長期借入金の返済による支出	△3,920	△4,067
社債の償還による支出	△469	△406
配当金の支払額	△2,673	△3,252
リース債務の返済による支出	△216	△250
割賦債務の返済による支出	△303	△327
自己株式の純増減額 (△は増加)	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,587	△2,177
現金及び現金同等物に係る換算差額	721	98
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,286	13,510
現金及び現金同等物の期首残高	19,982	24,948
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	505
現金及び現金同等物の中間期末残高	26,268	38,964

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間の期首より、前連結会計年度まで非連結子会社であったISK BIOSCIENCES INDIA PVT. LTD. は、重要性が増したため、当該子会社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	有機化学事業	無機化学事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	36,296	36,019	2,206	74,522	—	74,522
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	1,480	1,480	△1,480	—
計	36,296	36,019	3,687	76,003	△1,480	74,522
セグメント利益	2,684	1,743	168	4,597	△1,943	2,653

(注) 1 調整額は、次のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,943百万円には、セグメント間取引消去55百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,999百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位: 百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
26,551	15,742	11,860	18,830	1,537	74,522

- (注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。
- 2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。
- (1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、インド
- (2) 米州：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ
- (3) 欧州：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域
- (4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	有機化学事業	無機化学事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	41,511	33,008	1,938	76,459	—	76,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,427	1,427	△1,427	—
計	41,511	33,008	3,366	77,886	△1,427	76,459
セグメント利益	5,756	3,699	124	9,580	△2,209	7,371

- (注) 1 調整額は、次のとおりであります。
- セグメント利益の調整額△2,209百万円には、セグメント間取引消去93百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,303百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位: 百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
27,302	13,972	14,396	19,975	812	76,459

- (注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。
- 2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。
- (1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、インド
- (2) 米州：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ
- (3) 欧州：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域
- (4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。